

2025年5月定例自然観察会 実施報告書

2025年5月19日

実施日 2025年5月11日（日） 晴れ
テーマ 初夏の武田尾 花盛り
～溪流沿いの自然観察を楽しむ～
コース JR武田尾駅～温泉橋～右岸下流～右岸上流～武田尾橋～JR武田尾駅
集合時間 午前9時30分
解散時間 午後3時頃
参加者 83名 ビジター58名、会員25名（内、1班20名）

5月の武田尾は植物観察に最適な季節です。新緑が眩しく、次々と花が咲き、果実を作り、エネルギー溢れる1年の始まりを感じさせてくれます。

武田尾という名前は地名ではなく1641年に武田尾直蔵という豊臣方の落ち武者が温泉を発見し、温泉名として呼ばれていました。1899年（明治32年）には武田尾駅が設置され、武庫川沿いを線路が走っていましたが、1986年（昭和61年）に複線電化され、旧福知山線は廃止され、新しい武田尾駅は80%トンネル内にある橋上駅となりました。温泉橋前の集合地が旧福知山線の武田尾駅のあった場所です。



武田尾付近の地質は古く、地形は独特の自然景観を形成しています。地質は流紋岩質凝灰岩で、1億年前頃～7千万年前頃の火山噴出物が堆積した火山岩からなり、有馬層群と呼ばれています。地形は100万年前頃に起きた六甲変動と同時期に隆起し、これに対抗して武庫川が穿刻し、流路がそのまま残る珍しい先行河川が形成されました。

武庫川は丹波の篠山の愛宕山を源流とし、上流の篠山盆地から三田盆地の流れは穏やかですが、道場を過ぎると浸食により河床勾配が急となり生瀬までを武庫川渓谷、武田尾あたりは武田尾渓谷と呼んでおり、V字谷や上流部より下流の流れが急となる特異な河川となっています。

9:55 観察出発 シライトソウを目指します。
温泉橋付近には頭上にオニグルミの雄花が見える。
ケケンボナシ、コクサギ、アブラチャンの果実も。
右手崖地に蕾を付けたガマズミ、イヌガヤ、足元に
ヤブニンジン、オヤブジラミ。ニシキギ科のツルマサキ

右手に石垣が見えます。これは1970年初めに
リバーサイド住宅として売り出された住宅跡地です。
ここの地形は北側に名塩川が合流し、南側は川幅が狭く
なり東に大きく曲がる位置にあるため、台風や大雨時に何度も床上浸水に悩まされてきましたが、



2004年の台風23号で濁流がコンクリート堤防壁を越え浸水し、その後全戸が移転しました。
今はノイバラなどが覆いつくしています。

黄色い花のジャケツイバラが目立ちます。 秋には赤い果実をつけるゴンズイも今は円錐花序に蕾をつけています。大きな曲がり角を曲がると種を飛ばした後の鞘を残したキササゲ、カマツカは花が終わっています。ウワミズザクラは小さな果実をつけ、ラン科のツチアケビが10 c mほどに伸びています。



ジャケツイバラ



キササゲ



観察風景



ツチアケビ

シライトソウに続く一本道には、オオコマユミの花が残り、ツクバネウツギのガク片が5個見える。コガクウツギの白い装飾花が美しい。小さな白い花をつけた小さなタニギキョウの群生があった。今日のハイライトのシライトソウは2分咲きぐらいだが斜面にたくさんの蕾が見える。



コガクウツギ



タニギキョウ



シライトソウ



キヨスミギボウシの葉

温泉橋まで戻り昼食

13:00 温泉橋出発 武庫川右岸を武田尾橋へ

蕾を付けたクマノミズキ、クサギ、ヤマウコギは葉の下に蕾が見える、花は終わっているがミツバウツギ、コバンノキ、フユザンショウ、オカウコギ、岩上のイブキシモツケは花が少し残っている。ムラサキシキブ、ヤブウツギ、ホウライシダ、ケハンショウヅルは蕾をつけているウラジロウツギが満開です。ミツバベンケイソウ、スミレモ、タニウツギ、ニッコウバイカウツギ



ヤブウツギ



観察風景



ウラジロウツギ

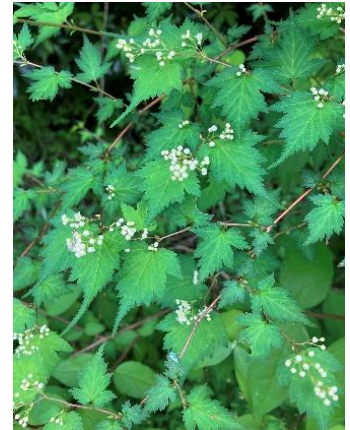
水管橋が見えます。橋脚が石積みの近代土木遺産の一つです。完成までに17年を費やしたこの神戸市水道水管橋は1919年〈大正8年〉に完成し、千刈貯水池から西宮市の上ヶ原浄水場に送水し阪神水道企業団から購入した水とともに神戸市街地に供給している神戸市水道局の導水管です。



熱心にメモ



イブキシモツケ



コゴメウツギ

イワタバコ、ヤマイバラ、カワラハンノキ、シナサワグルミ、キブシ、バラ科互生のコゴメウツギ、キシダマムシグサ、ヤマアジサイ、ミカエリソウ、フサフジウツギ、ニガキ、アリマウマノスズクサ、ヤマブキ、ツメレンゲ、ウツギ、頭上にイヌザクラ、岩礫地を好むヨコグラノキは小さな蕾が見える

15:00 JR武田尾駅解散

武田尾にはウツギと名のつく植物が10種あると紹介すると皆さん驚かれていました。

溪流沿いの植物や岩上植物、岩礫植物、多種多様な植物があることが分かりまた来たいですと言われたビジターさんが多くおられました。

1班は5グループに分かれて案内をしました。各グループ思い思いに企画し、葉に触ったり香りをかいだり。写真を見てもらったりして植物を身近に感じてもらうように工夫し、説明したおかげでメモを取る人や質問する人も多く、興味を持って参加されていることが分かりました。気候も良く、楽しい定例自然観察会となりました。

1班 氏家美知子